

学校運営の構想

(1) 学校教育目標

豊かな人間性を培い、自ら進んで取り組む、心身ともに健やかな児童の育成

(2) めざす子ども像

正しく学べ 明るく生きよ たくましく育て 本気全開! 柞田っ子

(3) 本年度の重点目標

みがき合い、高め合う心と言葉、温かいかわりとけじめが息づく柞田小教育の深化

(4) 児童会テーマ

大丈夫? 絆でつながる心 ありがとう! 感謝の気持ちで広がる笑顔の花 思いやりあふれる柞田っ子

(5) 運営の構想

四指導部会			
【学ぶ】基礎部会	【律する】生き方部会	【育む】健康部会	【つながる】情報部会
基礎学力の確実な定着 ・ つみ上げ学習（石がき） ・ 学習規律の徹底・定着 ・ 家庭学習の充実 ・ 伝える力の育成（対話）	自己有用感の高揚 ・ 共創エールプロジェクトによる効力感の醸成 ・ あいさつ ・ 清掃活動の充実	元気な心と体の育成 ・ 運動の楽しさの実感 ・ 家庭と連携した健康啓発 ・ 不登校（傾向）児童への温かいかわり	情報活用能力の育成 ・ 協働的な学びの充実 ・ 情報モラル教育 ・ 校務の情報化
チーム柞田（組織的・協働的な対応をめざして）			
① 人権・同和教育を基盤とした心を育てる教育の推進 ・ 人権・同和教育を根幹に据え、道徳教育と一体的に、一人ひとりの違いやよさを認め合い、互いを尊重する心を育てる。 ・ 児童会活動の充実を通して主体性を育み、思いやりと責任感を育成する。 ・ 温かいかわりを土台に、けじめある行動と規範意識を育て、安心して学びに向かう集団づくりを進める。			
② 危機管理と生徒指導の充実による安心・安全な学校づくり ・ 危機管理意識を高め、日常の観察と対話を基盤に未然防止と早期対応を徹底する。 ・ KNTプロジェクトを核に、共通理解・共通実践による組織的な生徒指導体制を確立する。 ・ 「多様な子供を誰一人取り残さない教育」を基盤とし、学びの保障の視点から多様な学びの場を活用した支援を行う。 ・ 特別支援学級、通級教室、ステップルーム、リラックスルーム等を関連付け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進め、段階的に集団での学びへつなぐ。 ・ 不登校（傾向）、支援を要する児童への対応は、児童理解に基づき、担任・管理職・関係職員が連携したチームで行う。 ・ 子どもと教師がともに関わり合い、認め合い励まし合う教育活動を通して、自己有用感と学びに向かう力を育成する。			
③ 学び続ける教職員集団の形成 ・ 児童を第一に据え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて自己研鑽に努める。 ・ 対話と協働による授業改善を進め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る。 ・ 支え合う職場風土を大切にし、やりがいと働きやすさの両立を図る。			
④ 家庭・地域とともに歩む柞田小教育の充実 ・ 学校日より「天王丘」、柞田小ブログ等を通して学校の取組や子どもの成長を積極的に発信し、信頼関係の構築を図る。 ・ 地域の教育力を積極的に活用し、「地域の中の学校」として地域学校協働活動の充実を図る。 ・ 家庭・地域と連携しながら、柞田っ子の健やかな成長を支える教育活動を推進する。			
※一校一社会貢献 ・ 楽陽荘との交流（児童会活動、合唱部、全校児童による交流等）			